

愛知県安城市

テーマ:まちをつかってつくる。ヒト、公共空間、データを活用し、居心地よく滞在できる三河安城へ。



市域面積：86.05ha
人口：190,143人 (R3.1時点)

【立地適正化計画】
平成31年2月公表 (都市機能誘導区域)
平成31年2月公表 (居住誘導区域)
【都市再生整備計画 (滞在快適性等向上区域)】
令和3年4月公表

○ まち全体で稼ごうとする意欲の向上を目指し、複数の民間団体が行った社会実験にて得られたデータ (活動データ/オープンデータ/3D都市モデル) を共有し、データ上で更に必要と判断される機能等を公共空間に追加していくことで官民が連携してゆとりとにぎわいある都市空間を創出する。

○オープンスペース (街路空間、公園緑地) の充実
新しい日常に適合しうるパブリックスペース (公共空間) での活動を最大化することを目的に、まちに潜在する社会ニーズを、民間団体の仮説ある活動 (社会実験) により顕在させ、まち全体の稼ぐ力を創出。

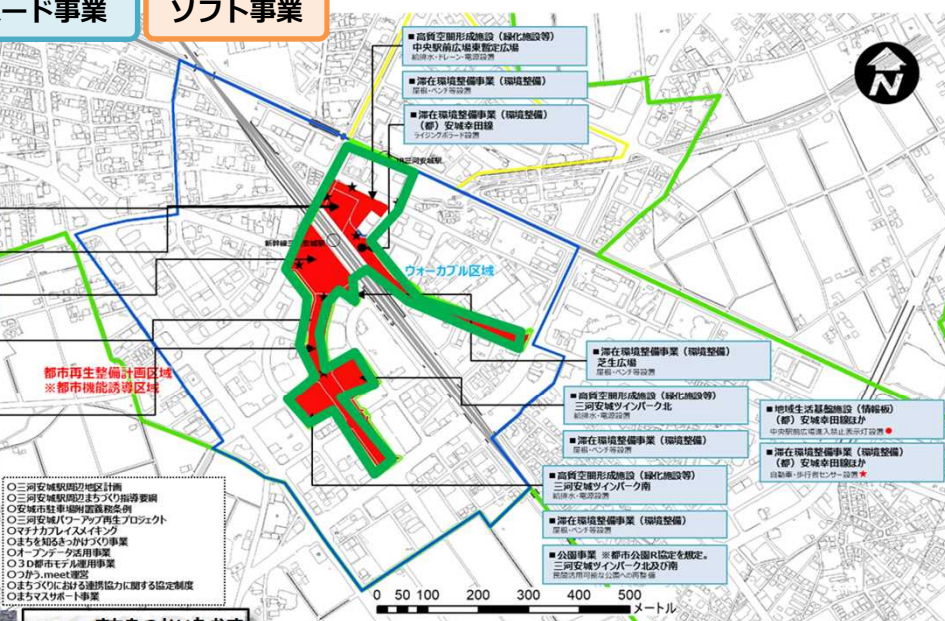
ハブリックスペース活用例
ミクスドスペース活用例
株式会社カシタカガ
株式会社リンクスト

ハブリックスペース活用例
プランディング実験
三河安城まちかどネットワークLink
NPO Mieru-Da Project

ハブリックスペース活用例
プランディング実験
三河安城まちかどネットワークLink
NPO Mieru-Da Project

ハブリックスペース活用例
プランディング実験
三河安城まちかどネットワークLink
NPO Mieru-Da Project

ハード事業 **ソフト事業**



都市再生整備計画区域
※都市機能誘導区域


ウォークアブル区域

0 50 100 200 300 400 500メートル

凡例
— 事業実施箇所
— 地区範囲
— ウォークアブル区域

○情報通信基盤設備の設置・データ活用・新技術を用いたサービス提供
官民連携で稼ぐ力の源泉となるデータ (活動データ/オープンデータ/3D都市モデル) を共有し、稼ぐ力の向上を図る。活動によって得られたデータ等を積み重ね、データ上で必要と判断される機能等を公共空間に追加していくことで、官民が連携してゆとりとにぎわいある都市空間を創出。

○収集データを公表し住民のまちづくりに対する意欲向上
活動データ、オープンデータ、3D都市モデルデータ等を収集・公表していくことで、新しいニーズの発掘やより高次な社会課題に気づく機会を創出し、町全体で稼ごうとする意欲を向上。



○遊休ストックの活用
社会実験等を活用しながら、遊休地のあり方を変化させ、官民連携でゆとりとにぎわいを感じる都市空間を創出。

まちをつかいたおす活動イメージ

目標設定

公共空間等を活用した、まちをつかう！プロジェクト数
(従前値：令和2年)
5回/年
(目標値：令和5年度末)
24回/年

つかってつくる！リノベーションエリア
(従前値：令和2年)
0%
(目標値：令和5年度末)
15%

まちをつかう！オーディエンス獲得数
(従前値：令和2年)
200人/年
(目標値：令和5年度末)
2,400人/年

社会実験で獲得し、公表したデータ
(従前値：令和2年)
0データ/年
(目標値：令和5年度末)
24データ/年